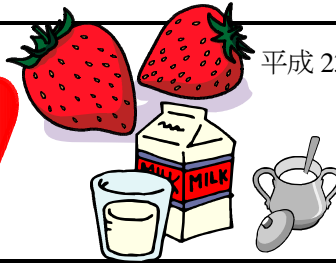


# 莓ミルク



平成23年5月20日(金) 第6号  
藤岡市立北中学校  
2年1組 学級通信

発行者：浅香 武志

## こんなメッセージが！ ～Sさんの生活ノートから～（原文そのまま）

昨日は、出張に行っていたいへんな中、私たちが浅香先生の期待を裏切ってしまいすいませんでした。私も正直うるさかったと思うし、誰も「静かに！！」とかも言いませんでした。そのような空気が「だめなんだなあ」と感じました。私が最近感じているのは、1組が最初に決めた「他のクラスのお手本になる！」ということのを、みんな忘れていく感じがします。利治先生には体育の授業でほめられますが、その他のクラスの先生に怒られるのが多いな、と思います。みんなの緊張感が切れています。こんなじゃあ、学年トップのクラスになれる気がしません。今は、グループ化も気になります。みんながまとまっていないと思います。いくら球技大会に向けて、私や学級役員が優勝という文字や心で思っても、みんながこの思いにまとまらないし、意味がないと思います。こんなことでは優勝できないと思います。正直今は、すごく自分自身悲しいです。いくら心で思っても願いが叶わないのは、すごくさびしいことだと思います。私の大好きな2年1組が悪い方向へ行ってしまふことが一番さびしいです。だからもう一回、学級役員とみんな、先生で話し合う機会を設けた方がいいと思います。それで、みんな一丸となって、球技大会で優勝したいです。みんなで団結してがんばっていきましょう！忙しいのに、こんなめんどくさいこととしてすいません。以後、気を付けていきたいです。

## みんなが掃除するから学校が楽しい ～家庭訪問で聞いた意外な一言～

ある家庭訪問先で、こんな意外な一言を聞きました。「2年生になって、みんなが掃除をちゃんとするから、学校が楽しいって言うんです。」一瞬ではよく分かりませんが、こういうことでしょうか。掃除をさぼる人が多い班では、その人の分を真面目にこなす人が分担しなければなりません。掃除の時間はさぞかし苦痛だったことでしょうか。でも、みんなで協力し合えば、一瞬で掃除も終わります。そんな掃除の時間さえも、学校生活の中で楽しいひとときに変えることができるのです。

最初のこの通信で言った「信頼される行動がクラスの原動力！」という言葉覚えていますか？誰かのために何かしてあげたい…と思うのはどんな時？その人が家族や好きな人なら当然のこと、「あの人の為なら頑張ろう…」と思えるのは、その人が「信頼される人」ではないか？という話です。勉強も頑張る、当番の仕事も頑張る、部活動も頑張る、友達に優しい…そんなクラスメイトが困っていれば誰だって手をさしのべるはず。頑張っているかどうかは、周りの人が決めること。頑張りを認めあえるクラスにしましょう！君がそんなに頑張るなら、僕も頑張るよ！と、みんなで認め合い、頑張っていこうとするパワーこそが、この1組を突き動かす原動力。1組のみんなで信頼される行動を心がけ、認め合い、そこから思いやりの心が生まれ、楽しいクラスになるはずですよ。

## 初心にかえろう！ ～最初の熱い気持ちを取り戻そう！～

話を戻します。塩谷さんは、勇気を出して、今の気持ちを文章にして、訴えてくれました。きっと、同じことを感じている人は、先生を含め、少なくないと思います。最初の頃の、「緊張して、周りのみんなの気持ちを気遣った時の感覚」「2年生になったから、何事も頑張ろう！と思えたその気持ち」をぜひ、取り戻してほしいと思います。最初はできたことが、慣れてきてできなくなってしまうのは、とても残念です。まだ、遅くはありません。大切な球技大会前に気付かせてくれた塩谷さんのメッセージに応えようではありませんか！ 元気のあるクラスは、はじめさえつけば「無敵」です。みなさんは、どう感じましたか？ 月曜日の生活ノートのみんなのコメントが楽しみです。